

公益社団法人 私立大学情報教育協会

2021 年度第 2 回

社会福祉学・英語教育・法律学・社会学・教育学・統計学・体育学・
政治学・国際関係学・コミュニケーション関係学グループ
分野連携合同会議議事概要

I. 日時 : 令和 3 年 10 月 4 日 (土) 18:00~20:00

II. 場所 : ZOOM 会議室

III. 出席者

角田総括委員長、戸塚委員長・山路委員・森田委員・天野委員(社会福祉学分野)、田中委員長・吉田委員・山本委員・五十嵐委員(英語分野)、加賀山委員長・吉野委員・高嶋委員・村田委員・笠原委員(法律学分野)、土屋委員・犬塚委員・亀井委員(社会学分野)、舟生委員・三尾委員・竹熊委員(教育学分野)、渡辺委員・竹内委員・今泉委員・西川委員(統計学分野)、内山委員(体育学分野)、川島委員・清滝委員(政治学分野)、佐渡友委員・柏崎委員(国際関係学分野)、鈴木委員(コミュニケーション関係学分野)、大原アドバイザー(情報専門教育分科会主査)

事務局：井端事務局長、坂下、中村

IV. 議事の経過

田中委員長(英語教育分野)の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について 検討を行った。話題提供者と内容についての確認、意見交流のテーマ・内容の検討と確認および、事前アンケートの内容と対話集会の具体的な進め方について検討を行い、以下のとおり決定した。

1. 開催要項の検討および決定

(1) 話題提供内容と提供者

① 社会福祉学分野

話題提供者：東洋大学社会学部教授 藤林 慶子 氏

タイトル：「実習教育に ICT を活用することで見えてきた効果と課題」～コロナ禍での社会福祉教育とアクティブラーニング～

内容： 社会福祉現場での相談援助実習に代わるオンライン代替授業について、ICT 等を活用した事前の教材準備、実際の実習教育、事後評価を通じて横断的に見えてきた効果と今後の課題について報告する。

② 英語教育分野

話題提供者：青山学院大学名誉教授 小張 敬之 氏

タイトル：「学修者相互評価のモバイルアプリを利用した英語プレゼンテーション授業の評価」

内容： 3 週間おきに海外の若者を 3 対 1 になるよう招聘して、環境問題・宗教と科学・SDGs・世界遺産等について対話とプレゼンテーションを重視した授業を実施し、アプリでピアのプレゼンテーションを評価していることから、アンケート結果と評価方法について報告する。

③ 政治学分野

話題提供者：駒澤大学法学部教授 清滝 仁志 氏

タイトル：「政治学科における全演習の紹介と修学支援のオンライン化の取組み」

内容： 学科全体の演習内容を各教員で演習動画を作成・アーカイブ化し、公開することで演習選択のミスマッチを防止している。また、講義科目においても、卒業生や外部ゲストの知見を随時オンラインで紹介し、学修意欲の維持向上、教員間の連携促進に努めている取組みについて紹介する。

④ 国際関係学分野

話題提供者：東洋大学国際学部助教 柏崎 梢 氏

タイトル：「オンラインで実施する国際協力に関する海外研修の可能性～学生本位による学びへの取組み」

内容： 2021 年 2 月及び 8 月に「国際地域学研修」として、タイの貧困地域における子供達の教育支援をテーマに、現地カウンターパート校、国際 NGO 等と連携してオンラインで調査・発表し、「自分

ごと」として国際協力を学び・考える視座の構築に至る効果がみられた取組みについて紹介する。

⑤ 教育学分野

話題提供者：早稲田大学教育・総合科学学術院教授 三尾 忠男 氏

タイトル：「実技演習が不可欠な大学授業のオンライン実施の工夫と ICT 活用の可能性の取組み」

内容： 実技演習が必要な資格関連の授業として、教職課程教育方法に関する科目で数十人規模のオンラインによる模擬授業の実践とピア・レビューによる授業改善の報告と、教職関連科目のハイフレックス型授業における協調学習の演習事例についても紹介する。

⑥ 統計学分野

話題提供者：サイバー・キャンパス・コンソーシアム統計学グループ運営委員会

タイトル：「実課題・実データによる反転授業の教材及び仮想空間を活用した PBL 型授業の取組み」

内容： 統計・データサイエンス教育の全学必修化に向けて、モデル・カリキュラムに沿った反転授業の教材作成と共有化、oVice 等のバーチャル教室を設け、アバターで学生同士が意見交換し、教え合い・学び合いを試行している取組みを紹介する。

(2) 意見交流のテーマ内容の確認および決定

意見交流のテーマについては、前回の会議を踏まえ以下の 4 点とすることを確認した。

- ① 学修者本位の教育への転換、遠隔と対面を効果的に組み合わせた PBL の工夫と課題及び戦略
- ② ネット上で多分野の知識を組み合わせ、知の創造を訓練する実験授業モデルの可能性
- ③ 対面と遠隔を組み合わせたプラットフォーム作りと課題の整理
- ④ ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想の具体的なイメージ確認と課題

2. 事前アンケートの内容検討および決定

意見交流の運営に役立てるため、申込者には以下の項目について任意のアンケートを求めることを確認した。

- ・学修者の学びの個別最適化に向けて配慮している取組みについて
- ・遠隔授業の状況と学修評価の方法、不正防止対策、学生側の課題について
- ・問題発見・課題解決型教育(PBL)の導入理由について
- ・「対面と遠隔を効果的に組み合わせる PBL」の工夫と課題について
- ・「対面と遠隔を組み合わせた授業全体の学修プラットフォーム」に求められる機能について

3. 開催日時と会場

開催日時：令和 3 年 12 月 18 日(土) 13:00～17:00

オンライン会場：私学会館(アルカディア市ヶ谷)より ZOOM 配信

4. 運営シナリオの検討と役割分担

対話集会における進行役委員を各分野から選出し、当日に事前打合せを行うこと、次回は対話集会とすることを確認した。